

# 令和5年度予算の概要 — モーターボート競走事業会計 —

## 1 予算編成の基本方針

令和5年度は、尼崎市ボートレース事業経営計画(計画期間:令和元年度から5年度)の最終年度であり、引き続き、事業の使命である「ボートレースを通じ、お客様に感動を与え、尼崎のまちづくりに寄与する」ことに取り組んでいくとともに、今後もその使命を果たし市財政へ貢献し続けるために、お客様の満足の充実・向上を前提とした事業経営を目指し、次期経営計画の策定を行います。

令和5年度予算は、現経営計画に基づき編成し、上述の次期尼崎市ボートレース事業経営計画策定事業に加え、電話投票等の売上向上事業や競技エリア等の施設整備事業を重点取組事項として推進していきます。

## 2 予算の規模

(税込、単位:千円)

区 分		令和5年度	令和4年度	増減額	増減率	
収益的 収支	経常 損益	収入	58,404,009	63,390,091	△ 4,986,082	① △7.9%
		支出	56,067,118	60,231,994	△ 4,164,876	△6.9%
		差引	2,336,891	3,158,097	△ 821,206	
	特別 損益	収入	1	1	0	0.0%
		支出	1	1	0	0.0%
		差引	0	0	0	
合 計 (当年度純利益)		2,336,891 ② (2,238,638)	3,158,097 (3,017,455)	△ 821,206 (△ 778,817)		
資本的 収支	収入	1	1	0	0.0%	
	支出	1,235,249	1,786,282	③ △ 551,033	△30.8%	
	差引	△ 1,235,248	△ 1,786,281	551,033		
補てん財源		3,429,943	4,093,194	△ 663,251	△16.2%	
資金収支	年間	2,194,695	2,306,913	△ 112,218		
	累計	④ 8,394,692	8,517,452	△ 122,760		

収益的収入では、舟券発売金が、これまでの傾向から本場や場外発売場では引き続き減少すると見込んでいます。また、これまで加速度的に増加してきた電話投票(インターネット投票)発売金は、コロナ禍の影響を受けながらも社会経済活動が正常化に向かう中で、旅行や外食など他のレジャー等の機会が増加し、それに合わせて一定減少すると推察しています。これに加え前年度に開催されたSGレースの開催がなくなったこと等により、前年度予算に比べ7.9%の減少(①)となり、純利益は22億4千万円(②)を見込んでいます。

次に、資本的支出では、営業設備費及び投資有価証券が減少したことにより5億5千万円の減少(③)を見込んでいます。

資金収支については、年度末の資金残高が84億円(④)となる見込みです。

### 3 業務の予定量

区 分		令和5年度	令和4年度	増減	増減率
年間開催日数		130日	130日	-日	-%
舟券発売金 ※1	年間総額	54,084,978千円	58,412,972千円	△4,327,994千円	△7.4%
	一日平均	416,038千円	449,331千円	△33,293千円	△7.4%
本場入場 人員※2	年間総人数	245,440人	264,030人	△18,590人	△7.0%
	一日平均	1,888人	2,031人	△143人	△7.0%

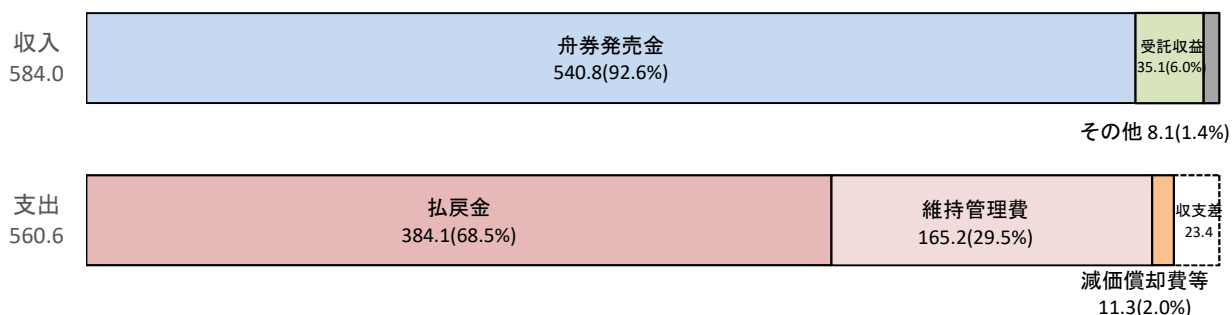
※1 舟券発売金=売上金と返還金の計

※2 本場入場人員=有料入場者数

### 4 予算の構成

(1) 収益的収支（事業管理・運営にかかわる収支）

税込、単位：億円、（）内は構成比



(2) 資本的収支（施設の建設・改良などにかかわる収支）

